

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

～3つの習慣・4つの対策～

寒いこの時期ご家庭では、ストーブや暖房器具など火気を使用していることと思います。火災はちょっとした「気のゆるみ」や「不注意」から発生することが多いです。火の用心を心掛けて安全で安心な生活を送りましょう。

寝タバコは、絶対やめる



ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する



ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す



逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する



寝具や衣類からの火災を防ぐため、防炎製品を使用する



火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する



お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣土士の協力体制を作る



ついてますか！ あなたの命を守る 住宅用火災警報器

平成23年6月1日より設置が義務付けられています。

住宅用火災警報器を取り付けたあとは、きちんと作動するよう1年に1回以上お手入れや点検をしましょう。



- ◎警報器に「ホコリ」がついていないか確認する。
- ◎「ボタン」や「ひも」により警報音や音声を確認する。
- ※ 注意 高所での作業は大変危険です！
転倒や落下などに十分注意して行いましょう。



火事にならないために、次のことを守りましょう！

コンロ

まわりに燃えやすいものを置かない

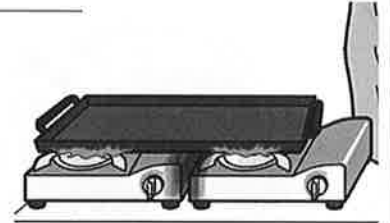
カセットコンロを使用する前に必ず「取扱説明書」を読む！



大きな鍋を使用したり、コンロをつなげて使用したりしない

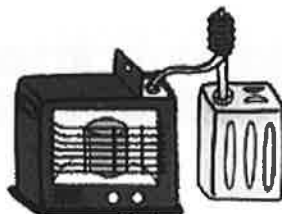
火をつけたままその場を離れない

※コンロ周りは常に整理整頓をして、日頃から油污れなどの掃除を行いましょう



ストーブ

ストーブのそばで遊ばない



火のついたまま給油をしない



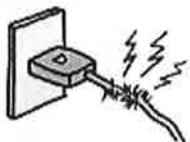
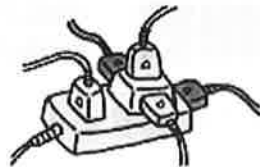
ストーブの上に物を置かない

布団のそばでストーブを使用しない



電気コード

タコ足配線をしない



コードがいたんだまま使用しない



重いものをのせない

たばこ

吸い殻を、クズかごに捨てない



灰皿には水を入れておく